

アセスメント 2 予定と変更の見える化の視覚的合図

記入者：

利用者：

日付：

視覚的合図の種類		評価	説明や例
具体物	使用するもの		食事は箸、余暇はブロック、おやつはコップなど
	代表するもの		その場所で使うミニチュアや物の一部など
	シンボル		活動とは直接関係ない型はめやプットインなど
写真カード	背景なし		活動で使う代表的な物を背景なしで写した写真
	背景あり		活動の場所を背景ありで写した写真
	本人あり		活動をしている本人が入った写真
絵カード	写実的な絵		実物に近い絵やイラスト
	線画		漫画っぽいイラストや線画
	シンボルマーク		学校や公共施設などで使われるピクトグラムなど
文字	文字カード		活動を表すひらがなや漢字などの単語のカード
	文章のリスト		活動を文章で表現したリスト

※評価：○-本人が確実にわかる、△-わかったりわからなかったりする、×-全くわからない

予定と変更の見える化の形態

種類		評価	説明
掲示場所	固定型		起点となる台、壁、机やテーブルに固定
	携帯型		場所ごとに本人が持ち運ぶ
掲示方法	支援者提示		支援者が活動の始まり毎に1つずつ渡す
	提示方向		上から下、あるいは左から右
	携帯式		蛇腹式、リング式、バインダー式、手帳タイプ
確認方法	移動カード		カードを活動場所のポケットまで持って移動する
	チェック式		カードを裏返す、終わり箱に落とす、✓マーク、目視
長さ	1つ、2つ		スケジュールカードの意味を教える段階
	半日・全日		施設などに来て帰るまで、起きてから寝るまで
	週間・月間		週や月単位での予定の把握が必要な人
変更や選択の内容			予定の中止、追加、変更、選択肢の提示など



アセスメント 3 活動の終わりを伝える方法の評価シート

記入者：

利用者：

日付：

終わりの理解	説明や例	評価	○の場合の詳細な検討
物がなくなる 具体物レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体物でやるのがわかる ・ 物を操作してなくなって終わりがわかる ・ 左に置いてある作業課題を完成させて右の終わり箱に入れる ・ ボールやチップを動かしてなくなったら活動の終わりがわかる 		何を使うか？ どのくらいの数量 終わりの提示 次にすること
シンボルカード がなくなる 絵・写真・記号 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色・形・数字・記号・文字・イラストなどのカードをマッチングできる ・ 1つ1つの活動や作業内容を表すシンボルカードを並べて数量を表す ・ 活動や作業する物があってもシンボルカードがなくなって終わることができる 		どのシンボルを使う 数量 終わりの提示 次にすること
文字のリスト 文字や文章 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字や文章を理解できる ・ やることのリストを文字や文章で提示して数量はそのリストの数 ・ 活動や作業する物があってもリストの通りに行い、終わることができる 		終わりの提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ ✓マークを入れる ・ 傍線を引く ・ リストの文字を消す
終わりの合図と して使えるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終わり箱 ・ 容器、棚への出し入れ ・ タイマー ・ 時計 ・ その他 		

※評価：○-本人が確実にわかる、△-わかったりわからなかったりする、×-全くわからない